

製品安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名	: 20粒状石灰窒素（石灰窒素 粒水和品）
会社名	: 片倉コープアグリ株式会社
住 所	: 東京都千代田区九段北一丁目8番10号
担当部門	: 生産技術本部 生産技術部
電話番号	: 03-5216-6614
FAX番号	: 03-5216-6621
緊急連絡先	: 03-5216-6614
推奨用途及び使用上の制限	: 肥料、農薬、工業用原料

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

: 火薬類	分類対象外
: 可燃性/引火性ガス	分類対象外
: 可燃性/引火性エアゾール	分類対象外
: 支燃性/酸化性ガス	分類対象外
: 高圧ガス	分類対象外
: 引火性液体	分類対象外
: 可燃性固体	分類できない
: 自己反応性化学品	分類対象外
: 自然発火性液体	分類対象外
: 自然発火性固体	区分外
: 自己発熱性化学品	区分外
: 水反応可燃性化学品	区分外
: 酸化性液体	分類対象外
: 酸化性固体	分類対象外
: 有機過酸化物	分類対象外
: 金属腐食性物質	分類できない

健康に対する有害性

: 急性毒性(経口)	区分 4
: 急性毒性(経皮)	区分 5
: 急性毒性(吸入:ガス/蒸気/ミスト)	分類対象外
: 急性毒性(吸入:粉じん)	区分 4
: 皮膚腐食性/刺激性	区分 2
: 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 1
: 呼吸器感作性/皮膚感作性	分類できない
: 生殖細胞変異原性	分類できない
: 発がん性	分類できない
: 生殖毒性	分類できない
: 特定標的臓器/全身毒性(単回ばく露)	区分 3(呼吸器系)
: 特定標的臓器/全身毒性(反復ばく露)	分類できない
: 吸引性呼吸器有害性	分類できない

環境に対する有害性

: 水生環境有害性(急性)	区分 2
: 水生環境有害性(慢性)	区分 2
: オゾン層への有害性	分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

: 危険

危険有害性情報

: 飲み込むと有害(経口)
皮膚に接触すると有害のおそれ(経皮)
吸入すると有害(粉じん)
皮膚刺激
重篤な眼の損傷
呼吸器への刺激のおそれ
水生生物に毒性
長期的影響により水生生物に毒性

注意書き

: **【安全対策】**
適切な保護眼鏡、保護マスク、不浸透性手袋、ゴム長靴、不浸透性防除衣を着用すること。
粉じんを吸入しないこと。
取り扱い後はよく手を洗うこと。
屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
環境への放出を避けること。

3. 組成及び成分情報

化学物質

化学物質・混合物の区別

: 混合物

化学名又は一般名、別名

: カルシウムシアナミド(CaCN_2) : 40%
水酸化カルシウム($\text{Ca}(\text{OH})_2$)、炭素(C)等 : 60%

成分及び含有量

: 窒素全量(TN) 20% (成分表示は保証成分に限る)
アルカリ分 50%

CAS番号

: カルシウムシアナミド 156-62-7
水酸化カルシウム 1305-62-0
炭素 7440-44-0

官報公示整理番号

: カルシウムシアナミド (化審法番号) 1-121

(化審法・安衛法)

水酸化カルシウム (化審法番号) 1-181

PRTR法

: 政令番号: 77 (第一種指定化学物質)

(化学物質排出把握管理促進法)

カルシウムシアナミド 40%

4. 応急措置

吸入した場合

: 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。多量の場合、医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合

: 付着部又は接触部を石鹸できれいに洗い流す。外観に変化が見られたり痛みが続く場合は医師の手当てを受ける。

目に入った場合

: 清浄な水で15分以上洗浄する。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。
洗眼の際、瞼を指でよく開いて眼球、瞼の隅々まで水が行き渡るように洗浄する。
直ちに医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合

: 正気な場合、水か牛乳を飲ませ直ちに医師の手当てを受ける。
被災者に意識が無い場合には、口から何も与えてはならない。
また、吐かせようとしてもいけない。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	: 粉末消火剤、ソーダ灰、石灰、砂
使ってはならない消火剤	: 水、泡消火剤
消火方法	: 適切な消火剤を使用する。 周辺火災の消火活動を行う。 容器内に水を入れてはいけない。 できれば容器を危険地域外に移す。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具 及び緊急時処置	: 適切な保護眼鏡、保護マスク、不浸透性手袋、ゴム長靴、不浸透性 防除衣を着用し拭取り回収を行うこと。
環境に対する注意事項	: 公共用水域に流出しないように留意すること。
回収・中和	: シート等で覆い、飛散防止を図り、容器を回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意事項	: 24時間は飲酒しない。 適切な保護具を着用する。 破袋しないよう注意する。 水濡れに注意する。
保管上の注意事項	: 施錠して保管すること。 容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	: 設定されていない。
許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	
日本産衛学会(2005年)	: 設定されていない。
ACGIH(2005年)	: TLV-TWA 0.5 mg/m ³
設備対策	: 換気を良くし、粉塵の飛散を防止する。
保護具	
呼吸器の保護具	: 保護マスク
手の保護具	: 不浸透性手袋
眼の保護具	: 保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	: 不浸透性防除衣、ゴム長靴

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など	: 灰黒色の粒状物
臭い	: データなし
pH	: 12～13(肥料分析法に準ずる)
融点	: データなし
比重又は嵩比重	: 0.9～1.2
溶解度	: 可溶(水)

10. 安定性及び反応性

安定性・反応性	: 空気中に放置すれば、水及び二酸化炭素を吸収して、酸化カルシウム 及びジシアンジアミドを生じる。 水と反応するとアンモニアガスを発生することがある。
その他	: 水と反応して、体積膨張し容器を破壊することがある。

11. 有害性情報

急性毒性(50%致死量等含む)	: ラット(経口) LD ₅₀ 700mg/kg
皮膚腐食性・刺激性	: 長時間接触し発汗を伴うと、潰瘍・発疹することがある。
眼に対する重篤な損傷・刺激性	: 眼を刺激し、粘膜を侵すことがある。
慢性毒性・ガン発生	: 認められていない(医薬品シアナミドによる長期投与例による)

変異原生 : データなし
その他 : 水と反応するとアンモニアガスを発生することがある。
取扱中に吸入すると咽喉や気管支に炎症を起こすことがある。
取扱中に吸入した後に飲酒すると、軽い中毒作用を起こすことがある。
(頭や上半身の充血、呼吸困難、心臓の興奮、心拍の進時には嘔吐
や下痢を伴うこともある。)

12. 環境影響情報

分解性 : 土壌中で分解しアンモニア、水酸化カルシウム、炭酸カルシウム、
炭酸ガスとなる。
魚毒性 : TLM 150ppm

13. 廃棄上の注意

: 水溶液は、強アルカリ性のため中和等の処理が必要である。
分解の終了まで動植物に影響があり、一箇所に多量に廃棄しない。
下水、河川への直接廃棄しない。
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理
業者に委託する。

14. 輸送上の注意

国際規則 : 該当しない。
国内規則 : 該当しない。
陸上規制情報 : 該当しない。
海上規制情報 : 船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報 : 航空法の規定に従う。
特別の安全対策 : 海上輸送や水濡れに注意すること。
破袋しないよう丁寧に取扱うこと。

15. 適用法令

肥料取締法 : 石灰窒素(第3条 公定規格)
農薬取締法 : 石灰窒素(第2条)
水質汚濁防止法 : 生活環境の保全に関する環境基準項目(全窒素)
労働安全衛生法 : 名称等を通知すべき有害物(法第57条2、施行令第18条の2別表第9)
化学物質管理促進法 : 第一種指定化学物質 政令番号77号 カルシウムシアナミド

16. その他の情報

参考文献

1. 14705の化学商品 2005年 (化学工業日報社)
2. 国際化学物質安全性カード(国立医薬品食品衛生研究所)
3. GHS分類結果データベース(独立行政法人 製品評価技術基盤機構)
4. GHSモデルMSDS情報(中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター)
5. 黒須健一:石灰窒素中毒の実験研究(産業医学2巻7号557-593)(昭和32年)
6. 黒須健一:石灰窒素中毒の一症例(農村医学7巻3号226-238)(昭和32年)

記載内容のうち、含有量、物理化学的性質等の数値は、保証値ではありません。
危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報・データ等に基づいて作成しておりますが、
すべての資料を網羅したわけではありませんので、取扱いには充分注意してください。
注意事項等は通常の取扱いを対象としたもので、特殊な取扱いの場合には、その時点のご配慮を
お願いします。